

令和5年度 第4回安曇野市歯科口腔保健部会 会議概要

| | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 会議名 | 安曇野市歯科口腔保健部会 |
| 2 | 日時 | 令和6年2月1日(木) 午後7時00分から午後7時40分まで |
| 3 | 会場 | 本庁舎 3階 全員協議会室 |
| 4 | 出席者 | 佐藤委員、山田委員、細萱委員、浅川委員、出井委員、 横内委員、寺島委員、寶委員 |
| 5 | 担当課出席者 | 吉田保健医療部長 障がい者支援課 宮澤係長 高齢者介護課 岩原係長、太田歯科衛生士 健康推進課 渡邊課長、小林センター長、小松係長、市川係長 宮沢副主幹、中村主査、臼山歯科衛生士、石川歯科衛生士、関根歯科衛生士 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 会議概要作成年月日 | 令和6年2月29日 |

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 部会長あいさつ
- (3) 保健医療部長あいさつ
- (4) 協議事項
 - ①安曇野市健康づくり計画(第3次)案について
 - ②令和5年度歯科保健事業中間報告について
 - ③令和6年度歯科保健事業計画(案)について
 - ④その他
- (5) 閉会

2 協議事項の概要

- ①安曇野市健康づくり計画(第3次)案について

【主な意見】

特になし

- ②令和5年度歯科保健事業中間報告について

【主な意見】

(委員)

妊婦歯科健診の受診率が上がっている。コロナの影響があった平成31年度から令和5年度までの間でコロナ前の受診率に戻ったのか、何かの手立てがあって市民の意識が上がっているのか教えてほしい。

(事務局)

平成31年度から比較すると徐々に受診率は上がってきている。コロナが落ち着いてきたことや、個別健診のため利用しやすいことも考えられる。近年出生届出数が減少傾向であるが、引き続き母子手帳交付時の受診勧奨等で受診率向上に取り組みたい。

③令和6年度歯科保健事業計画（案）について

【主な意見】

（委員）

介護予防事業のお口いきいきアップ教室フォローアップ講座の内容として、口腔機能向上のための訓練、体操等の確認、ゲームとあるが、具体的にどんな内容で実施しているのか。

（事務局）

口腔周囲筋を鍛える訓練。自宅で実践できるものを紹介する形で実施した。

④その他

質疑応答

（委員）

個別歯科健診の受診率が低く感じる。受診率向上や、市民の意識を上げるための取組はあるか。

（事務局）

- ・成人歯科健診は今後20歳、30歳を加えると更に受診率が下がると予想している。健診のタイミングでかかりつけ医を持ち、定期受診に繋げることが目的のため、歯科医師会や各方面から働きかけられるよう今後も協力をお願いしたい。
- ・介護予防教室等で、口腔機能検査があることを伝えている。歯だけでなく、自身の口腔機能についても自覚してもらえよう働きかけている。

（委員）

回覧板を見ない者が増えており、市の事業の情報をキャッチできない者が多い。回覧板以外の周知法や、市民の意識を上げられるような取組はあるか。

（事務局）

ホームページや対象者への通知で周知しているが、市民へのPRに関しては多くの事業の課題になっている。健康相談や教室を通じて少しずつ市民の意識を変えていく必要がある。

全体を通して意見交換

- ・小さい頃に教わった健康のための知識や生活習慣を成人後も継続できるよう、教育現場や家庭等で繰り返し伝えていく必要がある。
- ・令和6年度は積極的に研修の場を設け、大勢の専門職が参加できるようにする等、専門職の知識を底上げして市民に啓蒙してほしい。
- ・障がいのある者へ引き続き積極的な声掛けをお願いしたい。施設でも口腔機能向上のための訓練やゲーム等を実践していきたい。
- ・在宅の利用者へ口腔ケアの大切さを伝えるため、多職種連携しながら訪問に当たりたい。
- ・定期受診の重要性を市民へPRしていくために、健康教室、介護予防教室や健康づくり推進員の研修会等を通じて少しでも普及啓発していきたい。
- ・教育現場では、学校歯科保健指導が受けられるうちに定期受診の重要さや自己管理の仕方を子ども達に指導していきたい。

